



未来 現在 過去 未来 写真 仲間 手紙

柳都わいやらの会活動方針

■ 江戸時代の祭り行事に原点回帰を

新潟市歴史博物館には江戸時代の湊元神社の祭典行事の終盤で神様を海へお見送りする行列の絵図（蜚の手振り絵図）が所蔵されております。柳都わいやらの会ではこの絵図にある日和山海岸（蜚の手振り道）から河口までのちょうちん行列の再現を望んでおります。併し以下の行事を再現するとして現在住吉行列を施行されておられる方々の思考の下で取り行われるべきが前提かと思うのですが、この提灯行列再現案では途中の海浜公園等で地元の民謡や芸能等が披露されたり露店や夜店等でも集客を計りながら進行し終着はみなとトンネル付近の海岸で何基もの神輿で御見送りする一方曳いて来た手作りの葦で作った御座船を海へ流し花火を打ち上げ海難に遭われた人達の霊を弔い航海の安全と新潟港の発展を祈願しその年の住吉神社の祭典を終える。現行の水上演御では参加出来るのは限られた少数の特定の人しか参列する事が出来ないのは誠に残念です、改善されるべき事だと思えます。この陸上での行列再現は大幅な交通規制をする事も無く又古町や下町の活性化にも繋がり何と言っても夢があり又ストーリーがあります。

■ 郷土色豊かな曳山の制作を目指す

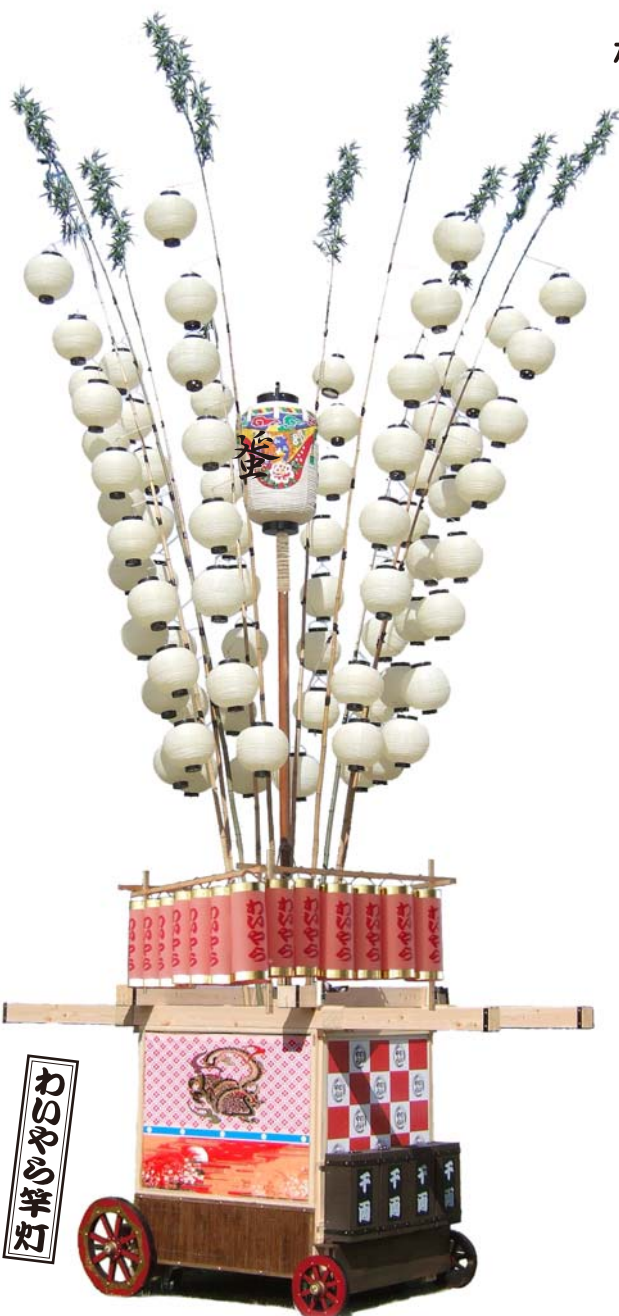
現在の竿灯曳山製作にあたりましては多くの方々からご協力を頂き完成する事が出来ました、ここに厚く御礼申し上げます。当初祭りに参加するには大きくて見ごたえのある物を製作し皆さんにお披露目しようとの事で米どころ新潟の意味を込め実るほど頭を垂れる稲穂になぞらえた多くの提灯で飾った曳山を会員達の手作りにより完成する事が出来ました。今後は更に大型化に向けて保管場所の確保や上空の障害物等の環境整備とか資金の問題もありますが出来る限りの改良やグレードアップ等を計り郷土色豊かな曳山の製作を続けて参りたいと存じます。一方将来の新潟市の祭りには各町内や企業体等で大型の曳山を多数製作されお互いに競い合い新潟の祭りが盛大に盛り上がる事を私共は望んでおります。今後の新潟祭りの発展には皆様方のご協力ご支援が支えです今後とも宜しくお引き立て下さいます様お願い申し上げます。

■ 飛入り参加歓迎・楽しいまつりにしましょう

ちょうちんの沢山付いた竿灯曳山が目印です遠慮なく参加下さい。

柳都わいやらの会

〒950-0853 新潟市東区東明2丁目2-11
電話 025-287-2111 FAX 025-287-2112



■ 米どころ新潟の稲穂をなぞらえた竿灯曳山です

■ わいやらとは新潟下町の方で物凄い物を見たときの感嘆詞です